

昭和33年度自動車技術会総会および春季大会

昭和33年度自動車技術会春季総会は、4月24、25、26日の3日間に亘り、京阪神地方において開催された。

期間中第12回通常総会、第8回自動車技術会賞授賞式座談会、学術講演会、特別講演会、懇親会、見学会を行った。

【第1日】4月24日(木)午後1時より、京都市楽友会館において「自動車の高速化に関する諸問題」について座談会を行った。



第1図 会長挨拶

【第2日】4月25日(金)午前10時30分より大阪市、第1生命ビルにおいて開催した。

1. 第12回通常総会

本人出席136名、委任状809名で総会成立し、竹崎会長議長となり下記の議事を審議した。

- 1) 昭和32年度事業報告の件
吉城常任理事より詳細な説明があり承認された。
- 2) 昭和32年度決算報告の件
吉城常任理事より決算報告書により説明があり承認された。
- 3) 昭和33年度予算の件
吉城常任理事より説明があり承認された。
- 4) 新役員選挙結果確認の件

昭和33~34年度評議員並びに理事、監事、支部長、会長の選挙結果について別表の如く報告があり満場異議な



第2図 特別講演会

く確認された。

2. 第8回自動車技術会賞授賞式

川田正秋審査委員長の審査経過報告に続き、竹崎会長の挨拶があり、下記の会員に賞状、記念品、特別金バッヂならびに浅原賞として、金ばいまたは銀ばいが贈られた。

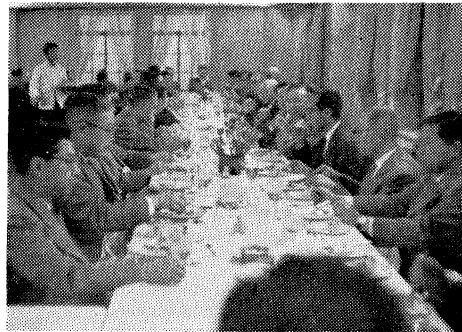
- 1) トレー型フレームの実用化

田中次郎君(富士精密)

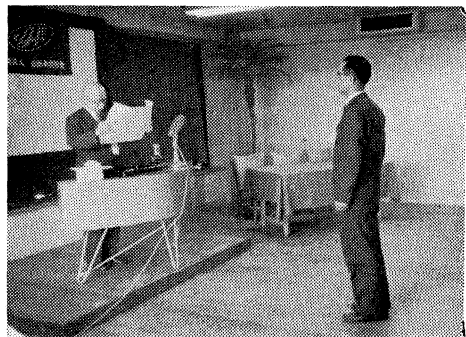
日村卓也君(")

- 2) バスおよびトラックの設計

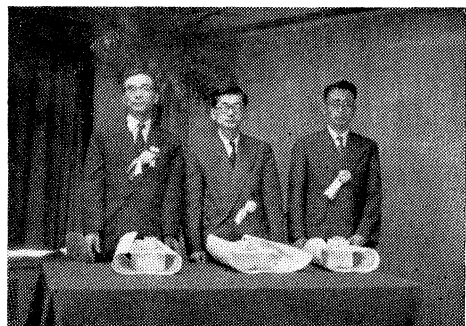
大久保武君(いすゞ)



第3図 懇親会



第4図 授賞式



第5図 受賞者(左より 田中、日村、大久保氏)

賞 状

1. トレー型フレームの実用化
 富士精密工業株式会社
 研究部長 田中次郎君
 設計部主査 日村卓也君

右は合理的な乗用車フレームの研究試作より実用化に努め、幾多の綿密なる実験を行い、軽量にして剛性の著しく高いトレー型フレームを作り、これにより車高および重心低く安定にして抵抗の少ない乗用車の実現に貢献した。

本会は審査の結果その自動車技術向上に寄与せる功績顕著なるを認め第8回自動車技術会賞を授与する。

昭和33年4月25日
 社団法人 自動車技術会 会長 竹崎瑞夫
 自動車技術会賞審査委員会委員長 川田正秋

賞 状

1. バスおよびトラックの設計
 いすゞ自動車株式会社
 研究部車両設計課長 大久保武君

右は二十数年の永きに亘りバスおよびトラックの設計に従事し、わが国の自動車の発達と共に歩みこの間幾多の優れた技術的業績によりバスおよびトラックの世界的水準への到達に貢献された。

本会は審査の結果その自動車技術向上に寄与せる功績顕著なるを認め第8回自動車技術会賞を授与する。

昭和33年4月25日
 社団法人 自動車技術会 会長 竹崎瑞夫
 自動車技術会賞審査委員会委員長 川田正秋

3. 特別講演会

「名神高速道路について」と題し、日本道路公団の久野悟郎氏の特別講演を行った。

4. 学術講演会

特別講演終了後、2会場にわかれ、学術講演会が行われた。約200名が参集し、座長は藪健一、小田柿浩三、小林 明、平尾 収、亙理 厚、福田秀雄および山岸正謙の7氏がつとめた。講演内容は別表に示す。

5. 懇親会

午後6時大阪清交社に参集し、懇親会を開催した。同時に5月パリーの国際自動車技術会議に出席する、吉城

常任理事の壮行を祝して乾盃した。(参加者60名)

【第3日】4月26日(土) 下記の3班にわかれ、見学会を行った。

- 第1班 東洋ベヤリング(株)武庫川工場
 ダイハツ工業(株)池田工場 (参加者 68名)
- 第2班 松下電子工業(株)高槻工場
 新三菱重工業(株)京都製作所
 東映京都撮影所 (参加者 55名)
- 第3班 三菱電機(株)姫路工場
 富士製鉄(株)広畑製鉄所 (参加者 36名)

学 術 講 演 内 容

No.	第 1 会 場		No.	第 2 会 場	
	講 演 題 日	講 演 者 (所属)		講 演 題 日	講 演 者 (所属)
1	自動車用標準ダストについて	◎伊藤文藤(機試) 山下憲 (濾器研究組合) 青山 清(〃)	14	惰行法による自動二輪車走行抵抗の測定について	島田文平 (東京発動機)
2	外国製オイルフィルタについて	◎飯寺正義 (濾器研究組合) 三浦義隆(〃)	15	自動車走行仕事量計の試作について	片山正芳(鉄研)
3	油槽式エアクリーナについて	◎清水富士雄 (濾器研究組合) 繁 樹(〃)	16	試作加速試験機について	◎山岸正謙(機試) 星野 晃(〃)
4	アクスル・シャフト鍛造における変形傾向について	中島富夫 (いすゞ)	17	自動車の加速性に関する考察	小早川 隆 (ダイハツ)
5	リヤ・アクスル・シャフトの高周波焼入れについて	森岡資夫(日野)	18	民生エア・サスペンション・バスについて	◎宮川 茂(民生) 国枝正春(鉄研)
6	綱の浸炭性の研究	筒井蛙声 (東洋工業)	19	三輪自動車の乗心地に関する一実験(続報)	古庄宏輔 (ダイハツ)
7	自動車用ターボチャージャー付ディーゼル機関について	◎村野欽吾(日野) 梶山泰男(石川) 島芝浦タービン	20	振動台によるシート試験法について	◎出野初男 (トヨタ) 川井秀夫(〃) 福田秀雄 (東工大)
8	自動車用排気ターボ過給機について(第2報)	◎塚川知(いすゞ) 山中正彦(〃)	21	振巾制御型防振ゴムについて	奥井四良 (富士精密)
9	試作したディーゼル排気濃度測定用の明度計について	平尾 収 (東大生研)	22	ショックアブソーバの走行時の特性について	須藤龍蔵 (富士精密)
10	コロガリ軸受予圧について	笹田 直 (日本精工)	23	旋回時のトラックタイヤのスキッドについて	亙理 厚 (東大生研)
11	2-スピードアクスルの構造および実用試験について	佐藤俊雄(日野)	24	遠心力とローリング角	小林 明(名大)
12	半自動式クラッチ操作装置の一例	五十嵐匡(日産)	25	瞬間図示馬力計(第2報)	小林 明(名大)
13	自動二輪車強度に関する総合的研究	山本峰雄 (群馬大)	26	吸気圧分類計(第2報)	